

## 平成28年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	信越自然郷アクティビティによるインバウンド誘客促進事業
事業主体 (連絡先)	一般社団法人 信州いいやま観光局 (信越自然郷アクティビティセンター) 0269-62-7001
事業区分	産業振興、雇用拡大に関する事業、特色ある観光地づくり
事業タイプ	ソフト
総事業費	2,841,940 円 (うち支援金: 2,273,000 円)

### 事業内容

長野県の山岳高原を生かした世界水準の滞在型観光地づくりとして、外国人旅行者に向けた信越自然郷内事業者の実施するアウトドアアクティビティ体験のWEB等による情報発信、インバウンド対応商品造成および受入環境の整備を行った。また地域の自然環境、歴史文化を活かし、外国人旅行者にとって魅力を伝え、楽しんでもらう機会づくりを行った。

- ①インバウンド向け情報発信事業
- ②外国人旅行者向けサイクリングモニターツアー実施
- ③外国人旅行者向け自転車マップの制作



【サイクリングで伝統工芸手すき和紙体験ツアーの様子】

### 【目標・ねらい】

- ①アウトドア観光の魅力を発信する
- ②地域協働での自転車のまちなか周遊コース設定
- ③外国人でも地域の観光を楽しめる環境づくり
- ④インバウンド受入れ環境整備

### 事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

- ①WEBサイト「shinetsu-activity.jp/en」の構築を行った。自然を活かしたコンテンツと動画や写真素材を使い外国人に向けた発信を行った。
- ②地域資源が外国人来訪者にとって価値を持つかどうかのテストとして意見収集を実施し、彼らの評価を得ることができた
- ③自転車サイクリングコース 千曲川周遊、菜の花公園ルートを新たに設定し、英語で見所や飲食店など、インバウンドでも楽しく周遊しやすいサイクリングマップを制作した。

※自己評価【 A 】

### 【理由】

予定通りに事業実施ができ、確実な成果を得て、目標に向けた第一歩として事業活動ができた。

### 今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

- ・当地域ならではの観光コンテンツを、本事業で構築したツールを活用し継続して発信する。
- ・自転車を使ったスポーツツーリズムの推進を、イベントやツアーを通じて行う。
- ・信越自然郷エリアの山岳高原や河川の自然を生かした観光地づくり活動を継続して行う。
- ・地域の方々や事業者との連携を深めるとともに協同してまちの活性化へ取り組む。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」：予定を上回る効果が得られた 「B」：予定していた効果が得られた

「C」：一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある